

学ではスライドを使った発表をグループ発表の形式でおこないます。ここで、情報 A ではそれぞれの発表時期に合わせて、紙ベースでの個人発表（実際は Web ページにして情報共有）クラス内での個人プレゼン（ビデオ撮影あり）を指導します。つまり、「情報」の授業では、扱う教材を「産業社会と人間」より得て、「産業社会と人間」がより深く機能するように技術的なサポートで還元します。連携の時期には、週に 2 科目分の 4 時間を使って振り返り、情報を共有することになりますので、「産業社会と人間」の学習内容の定着と全員の活動参加を支援します。

その他の連携事例は、事業所見学の際のしおり作りを情報の授業で行うこと、年間のまとめの発表時には、情報の授業で年間で振り返る Web ページを作成することなどです。全て実体験を教材として情報の授業を進めることができます。

4 . プレゼンの指導

事業所見学が終わると、「産業社会と人間」では体験紹介を目的としたグループ発表が、「情報 A / B」では、内面的な気づきや提案をプレゼンする個人発表が行われます。個人発表は、リハーサルを行った上で、多目的ホールを仕切って、正装で気を引き締めて行います。司会やタイムキーパー、ビデオ撮影などの役割を与え、生徒に発表会の運営技術を身につけさせていきます。



クラス内で推薦された発表は、(今は実施されていませんが) 全国プレゼンテーションコンテストに応募し、連続して複数の入賞を果たしています。

5 . 行事新聞と発表会ポスターの効果

学校設定科目「DTP 入門」では、Word と Publisher という身近かなソフトで紙媒体の表現活動を扱います。例年、文化祭と体育祭の新聞作りを行っており、翌年まで全作品を掲示しています。

年間を通じて立ち読みする生徒は多く、新入生は学校の雰囲気を知ることができ、卒業年次生は最後の思い出づくりへの構想を練っています。



4 つの特色科目が年度末に年次内の発表会を行い、その中から選出された代表による全校での学習成果発表会を行います。このポスターは「DTP 入門」「DTP 活用」の受講生が作成し、多目的ホールの扉や廊下の至るところに掲示されます。生徒は発表会の日程を確認しながら、モチベーションを高めて準備を進めることができるという効果があります。



現在も昨年度のポスターを残しており、過去に学んだことを振り返る効果と、今学習していることをおろそかに扱わないように暗示する効果があります。

6. 校内 Web による情報提供・情報共有

5 部屋の PC 教室にある 140 台および図書室・自習室・キャリアガイダンス室にある 25 台ほどの PC を学習用のネットワークで管理しています。ブラウザのトップページは図の「清陵ネットワーク」という校内のポータルサイトが指定されています。

入学して最初の情報の授業で、自己紹介のページを作成したり、新 2 年次生が作った部活動紹介のページを見せることで慣れ、何かあればこのサイトに詳細があると生徒の中に定着しています。



例えば、「清陵夏の学び情報」をクリックすると、夏休み期間中の「総合学科公開講座」「短期集中講座」「インターシップ」「ボランティア活動」などの一覧・シラバスへのリンクに進みます。募集や手続きなども詳細に示してあります。

☆今年度(2008年度)のお知らせ

「夏の学び」プログラム一覧
 総合学科夏季公開講座一覧・シラバス付き *1次 5/23*
 短期集中講座一覧 *5/21 5/22*
 インターシップ受け入れ一覧 *6/18 6/19*
 「仕事の学び場」 *5/19 5/20*

【インターシップ関係の日程】
 説明会 6月2日 放課後・放課後 PC-A教室にて
 希望先の調整 5/21(6月5日)後随時行います
 事前指導①(手引きと書類) 7月4日15時50分から PC-A教室
 事後指導①(報告指導) 8月26日 昼休み 13:15~ PC-A教室
 事後指導②(体験発表会) 9月30日 放課後 15:50~ 多目的
 ※グループ発表になります。4分発表+2分質疑応答。
 ※実習訪問時の写真は配布用フォルダ「インターシップ」に
 ※PPT資料は前日までに提出フォルダ「インターシップ」へ

【ボランティア関係の日程】

進路に関わる情報では、指定校推薦の一覧や検定試験の内容を紹介しています。

情報 A の授業では、社会人講話の報告書など、制作物は基本的に Web ページにして相互閲覧するので、情報の共有化・データベース化ができます。情報発信のマナーも自然に身につけていきます。

7. 発表会の機材配置と運営

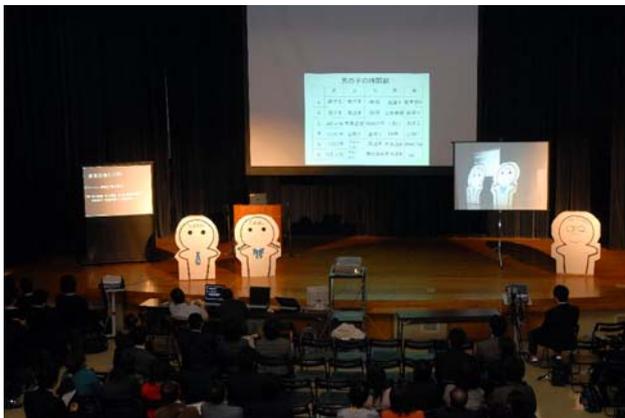
12月から2月まで、各年次で特色科目の発表会が行われます。ちょうど1つの年次が入る多目的ルームを使用するので、その機材配置を示します。プレゼン用のスライドは中央のスクリーンに投影し、隣のサブスクリーンには、カメラを使って発表者の表情のアップを投影。右上はプログラム(演題)を投影する。これが、標準のセットとして使う機材配置です。(右下はテレビ会議システムのモニター)



左は、発表者の表情を撮影するカメラとプロジェクター、右は記録用のビデオカメラで、司会および全ての機器操作も生徒が行うように指導しています。「産業社会と人間」と「情報」の授業からはじめて、発表することと、度々の発表会の運営を経験していくので、聞く態度もしっかりしており、外部の方からも高い評価を得ています。

年度末には、4つの特色科目からの代表発表者を選出し、卒業した3年次生は除きますが、残る1・2年次生対象に「学習成果発表会」を行います。会場も区の公会堂を借りて行うので、生徒はここで発表することを誇りに思っています。

この発表会は、発表数が多いので、休み時間もある長丁場になります。1・2年次生が総合学科生として縦に繋がるための演出も必要です。そこで、開始前や休み時間には、「映像メディア表現」の受講生の映像作品や球技大会決勝戦のビデオなどを流して、気を引きつけて一体感を持つ工夫をします。



左の小さなスクリーンがプログラム表示用で、基本的な機器設置は変わりません。生徒は、ただのスライドによるプレゼンよりも、寸劇にしたり、人形劇にしたりと様々な工夫をして印象づけます。



2年次の特色科目「コミュニケーション」では、自分の将来を絡めたインタビュー実習で得たことを報告します。身体の前にも何も置かずに、しゃべりだけで伝えます。この科目は直接には「情報」とは連携しませんが、1年次のプレゼンの技術がさらに発展しているということができます。

8. 清陵総合NEWS

これは教員が作成する校内新聞ですが、総合学科らしい活動があれば、年次に関係なく記事にして掲示するという形を取っています。私も担当者ですが、もともと情報科の教員が作成してきました。



開校してから5年間の新聞が、ギャラリーに全て掲示してあります。特色科目の中の特徴的なことが記事の大半を占めますが、入学式や修学旅行などの記事も入れるようにしています。年間を通して、そして5年間を通しての横浜清陵総合高校を俯瞰して見る事ができます。

生徒は、この学校ではどのようなことが行われているのかを知ることができます。実際には、中学生や保護者に対する説明に用いられることが一番多いようですが、分かりやすいと好評を得ています。

9. まとめ

情報教育は1年次で終わりではなく、卒業するまで関わるシステムを作ることで、学校全体に影響することができます。まずは、冒頭にあげた、Web・紙媒体・プレゼンという基本的な表現方法をバックアップする姿勢が大切だと思います。生徒がこれらと情報機器を活用できると、全ての授業でICTを活用した展開が可能になります。

都合がつかましたら、どうぞ3月の学習成果発表会をご覧にお出ください。